タモトユリ

1月号
十島村立
口之島小中学校
児童生徒会新聞
１月３０日発行

先生来校

「食」について学ぶ

十二月二十日と二十一日に、先生の食育に関する授業を児童生徒全員が受けました。鮫島先生は、役場から来られた栄養教諭です。十島村の小中学校の給食の献立を考えたり、授業をしたり、「給食だより」を作成したりしています。

二日間、学級ごとに「食」に関することを学びました。一、二年生は食事のマナー、四年生は行事食、五、六年生と中学生は食習慣についてです。

行事食を学んださん（小四）。一月の行事食はおせちと七草がゆだと学び、「そういえば、おじいちゃんの家でおせち料理や七草がゆを食べた」と思い出したそうです。「行事食ってどんなものか知らなかったけれど、以外と食べたことのあるものが多かった。お母さんに教えてもらって作ってみたい」と話しました。毎月必ず行事食があることに驚いたそうです。

さん（小六）ら五、六年生は、五大栄養素について勉強しました。「一日に取っていい塩分や糖分が二十ｇだということを初めて知り本当に驚いた。これからは栄養バランスに気をつけた食事をとりたい」と授業を振り返りました。栄養に気をつける大切さに気がついたようです。

食についてのいろいろなことを知り、食への関心を深めていきましょう。先生ありがとうございました。

くちっこ園を知ろう!

昨年十月に開園した、「くちっこ園」。園児はいろいろな場面で活躍し、島で注目されています。そこで今月の「タモトユリ調査隊」では、くちっこ園の先生方にお話を伺いました。

タモトユリ調査隊 ～ためになる！口之島勉強会～

くちっこ園は、保育園でも幼稚園でもない、子育て支援拠点施設。九人の園児と四人の先生が週三回、園で活動します。学校近くの空き家を改築した建物です。これまで「くちっこハウス」としてボランティアの形で活動していました。園児たちは、くちっこ園のほうがお気に入りなのだそうです。「これまではコミセンを借りて活動していたけれど、くちっこ園は自分たちだけの場所だからじゃないかな」と先生は話します。さらに、おもちゃを購入できることも利点です。いろいろな遊びを通して、成長することができます。

そして、私たちが最も関心を持ったのが、園のしくみです。園の先生の四人のうち三人は、園児の保護者です。「職員と親という立場は別々に考えている」と先生は話します。子供の様子がよく分かり、成長を近くで見ることができて嬉しいそうです。

最後に島の皆さんへ。「これからも、あたたかく見守ってください。いつでも遊びにいらしてくださいね！」ということです。いつもかわいらしい姿を見せてくれるくちっこたちは、優しい先生たちに見守られています。

彫刻完成！

「夢・立体彫刻展」に向けて、小・中学生全員が図画工作や美術の時間に粘土を使って彫刻を作り、完成しました。自分の好きなものや興味のあるもの、想像上の動物などを作ります。

さん（小五）は、陸上のボルト選手が走っている様子を作っています。「とても速く走っている姿にあこがれてボルト選手をモデルに選んだ。粘土の中心に入れる心棒を作るのが大変で時間がかかった」と作っているときの思いを話しました。また、美術の先生と相談して、走る姿のかっこよさや美しさを強調するために、足や胴体を大きく、腕を小さく作るようにしたそうです。

児童生徒は、自分が満足できるものを目指して一生懸命作りました。どうすれば自分の思いが見ている人に伝わるか、自分でよく考え、迷った時は先生や友達と相談しました。私たちの思いが、見る人に届きますように。

火災を想定して避難訓練

一月十七日に避難訓練が行われました。地震で家庭科室から出火したということで、校庭に逃げました。消防団の方々に来ていただき、生徒代表二名が消火器を使って消火の練習をしました。

生徒代表のさん（中二）は消火器を使った感想として、「今回は火が小さかったからしっかりと消せたけれど、火が大きかったら消すことがとても大変そう」と言っていました。また、「頭を守るための教科書を取り出すことに時間がかかってしまったし、ハンカチを使うか使わないかも迷った。放送をよく聞き、細かいこともきちんと知っておきたい。」と振り返りました。

避難訓練のあった一月十七日は、二十二年前に大きな被害をもたらした阪神・淡路大震災の日でした。地震大国の日本では、いつ地震が起きてもおかしくありません。自分の身は自分で守れるようにしましょう。

寒さに負けない体を作ろう

生徒会レクリエーション

「寒さに負けない体を作ろう」。一月の児童生徒会目標を達成するために、執行部は毎週火曜日、木曜日のレクリエーションを計画しました。大縄跳びや短縄跳び、おにごっこ、サッカー、ドッジボールなど、小学一年生から中学三年生までの全員が楽しめる競技で汗を流します。毎日の目標は、昼休みが終わるときには半袖でいることです。

十二日は、大縄跳び。初めは小学校低学年が「郵便屋さん」などの簡単な遊びを、小学校高学年や中学生が八の字と分かれていましたが、慣れてくると全員で八の字を一緒にしました。

「八の字は怖そうで、引っかかるのが嫌だ」と思っていた　さん（小四）も、「これまでは八の字が跳べなかったけれど、みんなと一緒に挑戦したら跳べた。とてもうれしかった」と楽しんだようです。

十九日は、体育館でフットサル。両チームともに果敢にゴールを狙ったものの、〇対〇で引き分けに終わりました。それでも、狭いコートの中で一生懸命に声を出し、ボールを蹴り、走り、「暑い、暑い」と言いながら昼休みが終わりました。寒い日が何日も続き、ぶるぶる震えながら過ごす日の多かった一月でしたが、レクリエーションによって少しは過ごしやすくなったと感じる児童・生徒が多かったです。また、「五時間目にあたたかく感じたから、授業に集中できた」と話す生徒もいました。これからも寒い日が続いていくと思います。外は寒そうだからといって部屋にこもるのではなく、そんなときこそ外で元気よく運動して、健康に過ごせるようにしましょう！風邪を引かずに過ごせたらよいですね。

ぴょんぴょん

小六

縄跳び大会　開催

生徒会のレクリエーションの一つとして、十七日に校内縄跳び大会を開催しました。前跳びや後ろ跳び、あや跳び、交差跳び、二重跳びの五種目で、高学年がスタートして数十秒後に低学年がスタートします。最後まで跳び続けた人が勝ちというルールです。

小学生はこれまで、体育の授業でたくさん練習してきたということで自信があったようです。なんと、　さん（小二）は二重跳びで二十六回という記録を出し、一位となりました。皆で気持ちのいい汗を流しました。

給食記念日に発表

一月二十三日からは、学校給食週間です。そこで保健委員会は、二十三日に、みんなに食事を楽しんでもらうために、鹿児島県の料理や特産物について発表をしました。保健委員はこの発表のために十二月の中旬から、原稿を書いたりパワーポイントを作成したり、練習したりと準備してきました。鹿児島県の郷土料理は鶏飯、ふくれ菓子、油そうめん、がねなどです。特産物はポンカンを紹介しました。保健委員長の　さん（小六）は、「しっかりと伝わるようにゆっくりと、はきはきと、大きな声で発表する練習をした。」と話しました。

口之島小学校へようこそ

新小学一年生の体験入学が十二月七日にありました。来年度の小学校入学生は、くちっこ園の年長さんの　さんです。

四時間目は、一、二年生教室で折り紙を折ったり、みんなで校歌を歌ったりしました。　さん（小一）は、「折り紙で遊んだことと校歌を歌ったことが楽しかった。折り紙を折るときに、分かりやすく教えることに気を付けた。　さんが入学したら、将棋を二人でしたい」と、大好きな将棋を一緒にすることを楽しみにしているようです。　さん、楽しい学校生活を楽しみにしていてくださいね！

できるようになったよ

■竹馬

僕が最近出来るようになったことは、竹馬です。どうして出来るようになったかというと、体育の他に朝のランニングの前や、昼休みを使って練習をしたからです。そして、とても大好きになりました。これからも、今までのようにたくさん練習をして、いつかは、僕よりも長く乗ることのできる　ちゃんよりもうまくなりたいです。

〈小二　　〉

■戦国武将を学ぶ

僕が最近出来るようになったことは、戦国時代についてくわしく知ることです。今まで、何人かの人物の名前だけを知っているだけでしたが、名前だけでなくプロフィールについて書かれた本を読むようになりました。おかげで歴史についての知識がより深まりました。これからもこの調子で歴史についてたくさんのことを知りたいです。歴史が大好きです。

〈中一　　〉